

深谷市新庁舎建設基本設計（案）に対する意見募集の結果と市の考え方について

深谷市新庁舎建設基本設計（案）に対するご意見の募集は、平成 29 年 2 月 1 日（水）から平成 29 年 3 月 2 日（木）まで実施し、5 名の方から 13 件のご意見をいただきました。寄せられたご意見の概要と市の考え方を次のとおり公表いたします。

No.	ページ・項目名	意見の概要	市の考え方
1	P 3 コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・市民にとって使いやすい庁舎・シティホールになっていると感じました。 深谷らしさの景観で、レンガを採用した外観も良いと思います。ホフマン窯は深谷が全国に誇れる産業遺産です。 新庁舎が深谷駅と並ぶ深谷のシンボルとなり、その間のエリアがレンガや深谷瓦を使用した町並みで統一されると深谷らしさが点から面に広がり、深谷らしい町ができてくると思います。ぜひ実現してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の誇りとなる「深谷らしい」新庁舎づくりを目指してまいります。
2		<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）深谷コリドーについて、発想は賛成です。 ネーミングのコリドーはわかりにくいと感じます。ホフマン窯由来をストレートに生かして「ホフマン回廊（通り）」も良いかなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）深谷コリドーのネーミングについては、今後、公募も含め、新庁舎の完成に合わせて検討してまいります。

No.	ページ・項目名	意見の概要	市の考え方
3	P 3 コンセプト	<p>・「基本計画」の 5 つの基本理念に追加する形で「人・歴史・まち」というコンセプトを入れました。その結果、たいへん華美になってしまっています。「基本計画」の 5 つの基本理念と反するような設計になっています。</p>	<p>・平成 27 年度に策定しました「深谷市新庁舎建設基本計画」では、5 つの基本理念に加え、「深谷らしい庁舎」の考え方として、「市民に親しまれ、魅力あるまち『ふかや』を発信し、まちづくりの活性化につながる『深谷らしい新庁舎』を目指すものとしております。</p> <p>そして、今回の基本設計において、「深谷の『人・歴史・まち』と調和する庁舎」をコンセプトとし、レンガの外壁やホフマン輪窓をモチーフとした（仮称）深谷コリドーを設置するなど、「深谷らしい庁舎」を目指した設計としております。</p>
4		<p>・議会、議員が市民のもう一つの代表であることはいまでもありませんが、そのために議場をシンボルとして特別扱いする必要はないと思います。</p> <p>壁にレンガと瓦が使用されるようですが、少し豪華すぎると感じますので、再考をお願いします。</p>	<p>・議場の詳細な設計については、平成 29 年度に行います実施設計の中で検討してまいります。</p> <p>ご意見は、今後の参考にさせていただきます。</p>
5		<p>・傍聴席について、現在の傍聴席は狭い・少ない・危ないです。設計では傍聴席はどうなっているのでしょうか。</p> <p>新議場では出入り口のバリアフリー化を含めて改善を要望します。</p>	<p>・傍聴席の詳細な設計については、バリアフリー化や誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮しながら、平成 29 年度に行います実施設計の中で検討してまいります。</p>

No.	ページ・項目名	意見の概要	市の考え方
6	P 4 市民サービスの向上を目指した庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 包括センターや図書館も一緒に設けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現市役所の課題の一つである、庁舎分散化による市民サービスの低下を解消するため、外部庁舎（教育庁舎や南別館等）を新庁舎へ集約し、市民の利便性や業務効率の向上を図るものであります。 ご意見の施設については、それぞれ市内に適正に配置されていることから、新庁舎内に集約設置する予定はございません。
7	P 5 人にやさしく、市民に開かれた庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新庁舎に南中央玄関を2階、1階に設ける。 駅から歩行者専用道路（にぎわい通り）を経由し直接庁舎に入れるようにする。 駅利用の来客、買物客、老人、子供等危険な17号を横断しなくて済む、なだらかなスロープの陸橋に接続する。 深谷小学校通学路として利用すれば、現在の古い歩道橋の代替にもなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見は、今後の参考にさせていただきます。 なお、1階南側にも出入口を設ける設計となっております。
8	P 8 計画概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の分庁舎と本庁舎の延床面積は8,004㎡です。総務省基準とほぼ同じ13,400㎡にしたのはなぜですか。狭あい化解消とはいえ、あまりにも大きすぎませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新庁舎に必要な面積については、旧総務省基準に基づき算定した17,000㎡から、3,000㎡圧縮した14,000㎡を基本計画時に決めました。 そして、今回の基本設計では、現在の庁舎にはない、市民利用スペースや待合いスペースなどを大きく取りつつも、さらに600㎡を削減し、よりコンパクト化を図っています。

No.	ページ・項目名	意見の概要	市の考え方
9	P 9 新庁舎各階 平面図	・金融機関にはATMも設置ですか。何台ですか。	・ATMについては、設置場所も含めて平成 29 年度に行います実施設計の中で検討してまいります。
10		・市民生活部の所には相談スペースが見受けられませんが必要と思います。 会計部門にも相談スペースは必要です。 2階にも相談スペースがあった方が便利です。	・1階の相談室については、福祉健康部の東側に共用の相談室を4室設置します。 2階には、消費生活相談室、市民相談室を常設し、その他の相談については、窓口カウンターでの対応とします。 なお、各階とも相談内容に応じ、カウンターにおいてもパーテーションを設置するなど、プライバシーに配慮した対応ができるような設計とします。
11		・新庁舎に車椅子利用者や障害者が訪庁しても移動等にはどのような配慮がなされているのか。	・新庁舎では、バリアフリーや誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮します。 また、障害者用駐車場を西側及び東側エントランスの近くに2台ずつ配置し、雨に濡れずに乗降できるよう庇を設置するなど、障害者の方の移動等に配慮します。
12		・1階の西側のトイレが少ないように感じます。	・トイレの適正器具数を算定するために通常用いられております公益社団法人 空気調和・衛生工学会の算定基準により、適正な器具数を確保しています。

No.	ページ・項目名	意見の概要	市の考え方
13	概算事業費	<p>・基本設計概算事業費の合計が出ていますが、市の借金（負担）がいくらなのか明記しなかったのはなぜですか。明らかにすべきです。</p> <p>【華美な意匠の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3階4階が吹抜けの議場 ・ホフマン輪窯のデザインの議場 ・コリドー <p>新庁舎整備の基本的な考え方、深谷市新庁舎建設基本計画で示された基本理念を逸脱する設計が多々見られ、そのため、事業費総額が大きくなっています。どう思われますか。</p>	<p>・新庁舎建設事業における財源については、基本計画で定めているとおり、市の財政にとって大変有利な「合併特例債（※）」を活用する計画で進めております。</p> <p>なお、今回は、設計案についての説明書であり、また、概算事業費も基本計画時から大きな変動はないため、改めて資金計画についてはお示ししておりません。</p> <p>また、今回の基本設計説明書（案）【概要版】では「5つの基本理念」と「深谷らしい庁舎の考え方」ごとに、設計にどう反映しているのか説明させていただいております。</p> <p>概算事業費につきましても、基本計画時の82億8千万円から78億3千万円とし、4億5千万円縮減しているため、事業費が大きくなっているものではございません。</p> <p>※合併特例債：元利償還金（元金と利子を合わせた返済金）の7割が普通交付税によって国から措置される大変有利な借入金</p>